



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社 キョウデン
 コード番号 6881 URL <http://www.kyoden.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画室長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 森 清隆
 (氏名) 渡邊 真樹
 TEL 03-5789-2273

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	39,734	7.2	1,853	37.0	1,958	33.7	763	65.3
2019年3月期第3四半期	42,803	1.4	2,943	38.8	2,953	29.9	2,201	28.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 948百万円 (57.1%) 2019年3月期第3四半期 2,207百万円 (28.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	15.37	
2019年3月期第3四半期	44.30	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	47,413	17,654	37.1
2019年3月期	47,288	17,202	36.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 17,582百万円 2019年3月期 17,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,700	4.7	2,900	27.0	3,000	24.5	2,900	4.5	58.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	52,279,051 株	2019年3月期	52,279,051 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,592,855 株	2019年3月期	2,592,855 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	49,686,196 株	2019年3月期3Q	49,686,212 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用及び所得環境は穏やかに改善を続けましたが大型台風による影響、世界経済の減速に伴う輸出や生産が弱含み、停滞基調で推移しました。また、海外経済においても米中貿易摩擦の長期化、中国経済の減速を背景に輸出の減少や設備投資の抑制が続き、景気の先行きは不透明な状況が続いております。このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比7.2%減の39,734百万円、営業利益は前年同期比37.0%減の1,853百万円、経常利益は前年同期比33.7%減の1,958百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比65.3%減の763百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（電子事業）

国内電子事業につきましては、引き続きアミューズメント機器向けが好調に推移しましたが、産業機器及び電子部品の落ち込み、昨年的大型台風の影響による基材入手難が加わり、足元の受注は回復傾向にあるものの、前年同期比では減収となりました。また、海外電子事業に関しましても、EU及び中国向け車載基板の受注が落ち込み、電子事業全体での売上高は前年同期比8.5%減の30,815百万円、セグメント利益は前年同期比42.0%減の1,232百万円となりました。

（工業材料事業）

工業材料事業につきましては、今上半期が都市インフラ関連製品の需要の端境期に当たり、昨年度上半期に例年の水準を超えて大きく伸びた混和剤の販売が通常的水準に戻ったことに加え、第2四半期以降、主要取引先で事故・自然災害による設備トラブルが相次いだことが更なるマイナス要因となり、減価償却負担増も収益を押し下げました。その結果、売上高は前年同期比2.3%減の8,919百万円、セグメント利益は前年同期比24.1%減の620百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は47,413百万円となり、前連結会計年度末に比べ124百万円増加しました。主な増減は、受取手形及び売掛金の減少298百万円、仕掛品の増加197百万円、原材料及び貯蔵品の増加127百万円及び有形固定資産の増加72百万円であります。

負債の残高は29,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ327百万円減少しました。主な増減は、支払手形及び買掛金の増加153百万円及び借入金の減少549百万円であります。

純資産の残高は17,654百万円となり、前連結会計年度末に比べ451百万円増加しました。主な増加は、その他有価証券評価差額金の増加106百万円及び利益剰余金の増加266百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、直近の業況等を勘案し、2019年5月15日に公表しました通期連結業績予想を修正いたしました。

2020年3月期の連結業績予想につきましては、売上高53,700百万円、営業利益2,900百万円、経常利益3,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,900百万円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,440	5,366
受取手形及び売掛金	17,564	17,265
商品及び製品	2,199	2,157
仕掛品	2,014	2,212
原材料及び貯蔵品	3,116	3,244
その他	444	632
貸倒引当金	△15	△107
流動資産合計	30,764	30,771
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,248	4,264
その他（純額）	9,812	9,868
有形固定資産合計	14,061	14,133
無形固定資産	194	201
投資その他の資産		
その他	2,449	2,463
貸倒引当金	△180	△157
投資その他の資産合計	2,268	2,306
固定資産合計	16,524	16,641
資産合計	47,288	47,413

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,203	8,356
短期借入金	5,732	4,362
1年内償還予定の社債	464	324
1年内返済予定の長期借入金	2,255	2,425
未払法人税等	572	138
賞与引当金	357	345
その他	2,993	3,770
流動負債合計	20,578	19,722
固定負債		
社債	806	609
長期借入金	4,672	5,322
役員退職慰労引当金	8	8
退職給付に係る負債	2,605	2,609
その他	1,415	1,487
固定負債合計	9,507	10,036
負債合計	30,086	29,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,174	4,174
利益剰余金	9,950	10,217
自己株式	△491	△491
株主資本合計	17,991	18,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	149
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△884	△819
退職給付に係る調整累計額	△6	△4
その他の包括利益累計額合計	△848	△675
非支配株主持分	59	71
純資産合計	17,202	17,654
負債純資産合計	47,288	47,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)
売上高	42,803	39,734
売上原価	35,439	33,479
売上総利益	7,363	6,255
販売費及び一般管理費	4,420	4,402
営業利益	2,943	1,853
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	6	3
受取賃貸料	32	34
持分法による投資利益	44	—
投資事業組合運用益	26	97
為替差益	18	55
その他	38	37
営業外収益合計	167	231
営業外費用		
支払利息	88	74
その他	69	52
営業外費用合計	158	126
経常利益	2,953	1,958
特別利益		
関係会社清算益	3	—
その他	53	—
特別利益合計	57	—
特別損失		
事業構造改善費用	—	780
特別損失合計	—	780
税金等調整前四半期純利益	3,010	1,178
法人税、住民税及び事業税	602	388
法人税等調整額	196	14
法人税等合計	798	403
四半期純利益	2,212	775
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,201	763

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日）
四半期純利益	2,212	775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	106
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	52	64
退職給付に係る調整額	6	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△44	—
その他の包括利益合計	△4	172
四半期包括利益	2,207	948
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,196	936
非支配株主に係る四半期包括利益	11	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	33,671	9,131	42,803	—	42,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	33,671	9,131	42,803	—	42,803
セグメント利益	2,125	817	2,943	△0	2,943

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	30,815	8,919	39,734	—	39,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	30,815	8,919	39,734	—	39,734
セグメント利益	1,232	620	1,853	—	1,853

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子事業」セグメントにおいて、当社の横浜事業所生産停止に伴い固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該セグメントにおける減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において326百万円であり、特別損失の「事業構造改善費用」に含まれております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2019年12月24日開催の取締役会において、当社保有の投資有価証券の売却を決議いたしました。

1. 投資有価証券売却の理由

保有資産の有効活用および財務体質の強化を図るため。

2. 投資有価証券売却の内容

①売却株式	当社が保有する非上場株式1銘柄
②売却日	2020年1月31日
③投資有価証券売却益	2,059百万円

3. 損益に与える影響

上記の投資有価証券売却益は、2020年3月期において特別利益として計上する見込みです。